

バリアフリー おすすめ観光コース

ぐるっと桜島

桜島港から道の駅、ビジターセンター、鳥島展望所、赤水展望
広場、湯之平展望所までを循環する周遊バス「サクラジマ
アイランドビュー」は車いす
対応バスで、各施設には多目的
トイレも設置。また、国民宿
舎「レインボー桜島」にはバ
リアフリールームもある。



桜島湯之平展望台

南薩コース

24時間使える多目的トイレがある「道の駅いぶすき彩花菜
館」をスタート。池田湖や大型レストラン「池田湖パラダイ
ス」、そうめん流し「唐船峡」、
パワースポットとして大人気
の「釜蓋大明神」もおすすめ。
さらに「知覧特攻平和会館」
「知覧武家屋敷」など、すべて
車いす観光可能、多目的ト
イレが設置されている。



釜蓋大明神

霧島～始良～伊佐

人気の「嘉例川駅」「塩湯温泉龍馬公園」、東洋のナイアガラ
と呼ばれる「曾木の滝公園」などもおすすめ。ほか、下記HP
には施設のバリアフリー情報が満載！
<http://www.pref.kagoshima.jp/an01/barifuri/top.html>

「eワーカーズ鹿児島」の発足は、
もともとパソコン教室の指導者をして
いた紙屋さんが、障害者を対象に
した職業訓練の講師を経験したこ
とがきっかけ。「障害がある方と初め
て接した機会でした」。教えるのは
健常者も障害者も同じこと。それ
も勝手が違うところも多少はあつ
たが「分からないことは教えてもら
えばいいのです。自分で運転して通
ってくる車いすの方には、どうやって
運転するのかを聞いて、実際見せて
もらいました。それにより何が不便
か、など気づくこともある。私は福
祉に携わった経験もありません。で
も、それぞれに自分の立場でできる
ことはあると思う。それをやりたい
と思っただけです」。

身近に障害者がいない場合、対峙
した際にどうしていいかわからない
という人もいるのでは。だからこそ
「まずは接すること」と話す。「も
とと障害者と健常者の間には何の

触れ合うこと、体験すること

障害者向けの職業訓練や在宅就労支
援などを行う「eワーカーズ鹿児島」では、
車いす利用者や歩行に自信のない高齢
者のための観光情報を発信する「かごし
まバリアフリー相談
センター」を設立。
さまざまな交流イベ
ントなども開催す
る。その活動や思
いについて語っ
てもらった。



eワーカーズ鹿児島
代表 紙屋久美子さん
<http://kagoshima-barrierfree.com/>
(かごしまバリアフリー相談センター)

それぞれの立場でできることがある。まずは接すること

壁もないのですから、まずは触れ
合ってみて、心の壁を取り払ってほ
しいです」

eワーカーズでは定期的に「かべ
なし交流会」を開催している。障害
に限らず、国籍や言葉などの壁を
とっばらつて、みんなで交流しよう
というもの。鍋パーティーの際には、全
員がいろいろな担当に付き、買い物
や準備、調理などを手分けして行っ
たという。中には「初めて包丁をに
ぎった」という人も。今月は「クリスマ
ス会」を予定している。

車いす利用者と触れあううち、気
づいたのが、「外食の際、何を食べた
いかではなく、まず、車いすで入れ
るか、お店選びの条件だというこ
とです」。それは旅においても同じ。
そこで「かごしまバリアフリー相談セ
ンター」を開設。「旅の感動に段差は
ない。魅力いっぱい鹿児島を満喫し
てほしい」をテーマに、県内各地の観
光地、宿泊施設、交通、温泉などのバ
リアフリー情報を、実際に車いす利
用者などと訪れて調査し、パンフレッ
トやHPなどで情報配信。個人の旅
の相談も無料で受け付けている。

また、2カ月に
1度の割合で「お
もてなし勉強会」
も実施。座学と、
実際に車いすや
高齢者疑似体験
セットなどを用い
たワークショップ
を開催している。

障害者の観光



おぼろ祭りに参加